

八尾市市民活動ネットワークセンター
「つどい」の充実に向けてのアンケート調査
【校区まちづくり協議会(設立準備会)】

<<目 次>>

I. 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の方法	1
(1) 調査対象	1
(2) 調査方法	1
(3) 回収結果	1
(4) 調査期間	1
(5) 集計結果について	1
II. 集計結果	2
1. 活動地域の特徴	2
(1) 住民の居住年数の特徴(問1①)	2
(2) 地域の特徴(問1②)	2
(3) 祭りや行事(問1③)	3
(4) 住民同士の交流(問1④)	3
2. 校区まちづくり協議会設立準備会の活動をふりかえった感想	4
(1) 活動をふりかえって、「成果があった」と思われること(問2)	4
(2) 活動をふりかえって、「難しかった」と思われること(問3)	5
3. 校区まちづくり協議会の今後の活動意向	6
(1) 今後力を入れていきたい活動分野(問4、4-1)	6
(2) 特に充実して取り組みたいこと(問5)	7
4. 校区まちづくり協議会の活動状況や活動に関する課題	8
(1) 校区まちづくり協議会の人材に関する課題(問6)	8
(2) 校区まちづくり協議会に参加してほしい人材(問7)	9
(3) 広報や参加者に関する課題(問8)	10
(4) 校区まちづくり協議会の運営に関する課題(問9)	11
5. 「つどい」への期待・要望	12
(1) 「つどい」の認知度(問10)	12
(2) 「つどい」が果たす役割の重要度(問11)	12
(3) セミナーや相談について(問12、13、14)	13
(4) 活動にあたって必要となる情報や情報発信について(問15、16)	14
(5) 活動にあたって必要となる資金の確保について(問17)	15
(6) 地域活動に関わる人材の育成について(問18)	15
6. 多様な団体との連携・協力について	16
(1) 多様な団体との連携・協力状況(問19、19-1)	16
(2) 市民活動団体の活動状況の認知度(問20)	18
(3) 市民活動団体との連携・協力の必要性(問21、21-1)	18
(4) 市民活動団体との連携・協力のために必要な取組(問22)	19
(5) 市民活動団体に協力を希望すること(問23)	20
(6) 市民活動団体との連携・協力にあたって、不安に感じること(問24)	20

7. 地域活動の活性化や校区まちづくり協議会の今後のあり方等に関する意見	21
--	----

I. 調査の概要

1. 調査の目的

八尾市では、平成16年に八尾市市民活動ネットワークセンター「つどい」を設置し、情報提供や相談、会議スペースや機材の貸出を通じて、市民活動の支援に取り組んできた。また、平成23年度から開始した八尾市第5次総合計画において、「地域分権」の考え方のもと、「みんなでつくる八尾」をまちづくりの目標の一つに掲げ、市民活動のより一層の活発化をめざしている。

上記の背景から、今後市民活動ネットワークセンター「つどい」の取り組みのより一層の充実を図るための調査研究を行うこととし、その一環として、校区まちづくり協議会（設立準備会）へのアンケート調査を実施した。

2. 調査の方法

（1） 調査対象

校区まちづくり協議会（設立準備会）

（2） 調査方法

郵送配布・郵送回収

（3） 回収結果

配 布 数：28票

回 収 数：28票

有効回答数：28票（有効回答率 100%）

（4） 調査期間

平成24年11月2日（発送）～平成25年1月9日

（5） 集計結果について

「N＝」は当該設問の回答者数を表しており、回答割合を算出する際の母数である。

なお、集計に当たっては、小数点第2位以下を四捨五入しているため、回答割合の合計は必ずしも100%にはならない。

また、複数回答の設問では、回答割合の合計は100%を上回ることがある。

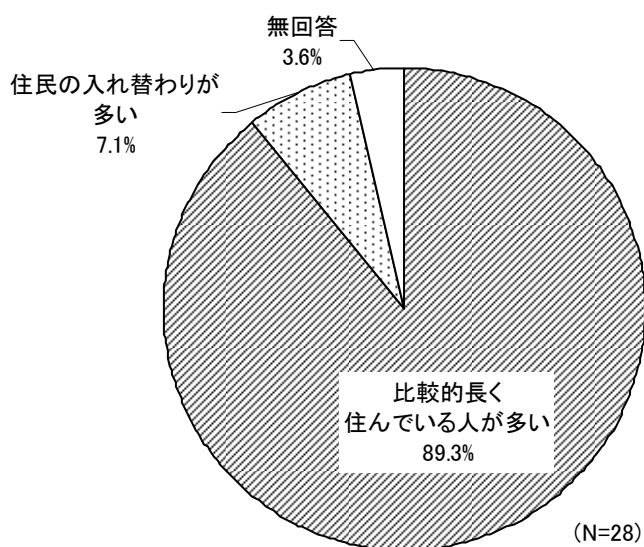
II. 集計結果

1. 活動地域の特徴

(1) 住民の居住年数の特徴（問 1 ①）

・「比較的長く住んでいる人が多い」地域がほとんどである。

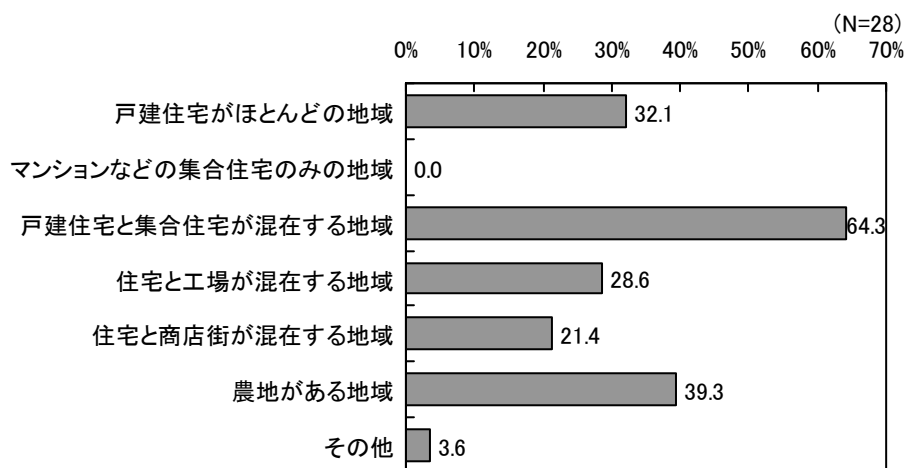
図表 1 住民の居住年数の特徴



(2) 地域の特徴（問 1 ②）

・「戸建住宅と集合住宅が混在する地域」が64.3%と最も多い。

図表 2 地域の特徴（複数回答）



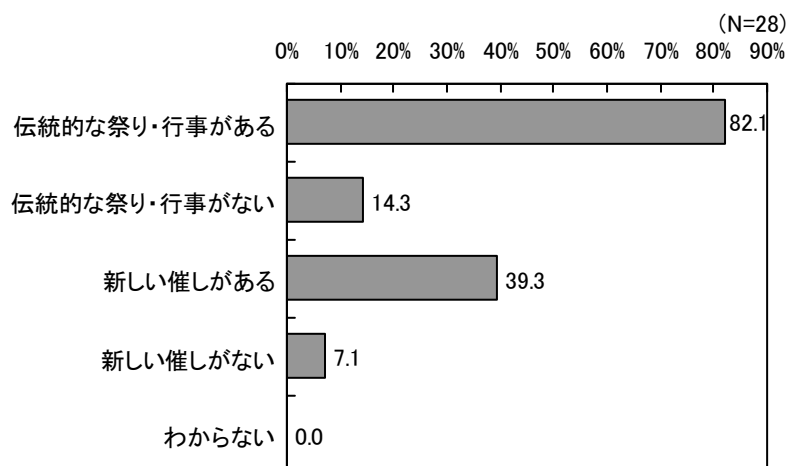
【「その他」の回答内容】

・約7割が公営・改良住宅で形成されている。

(3) 祭りや行事 (問 1 ③)

・「伝統的な祭り・行事がある」が82.1%と最も多い。

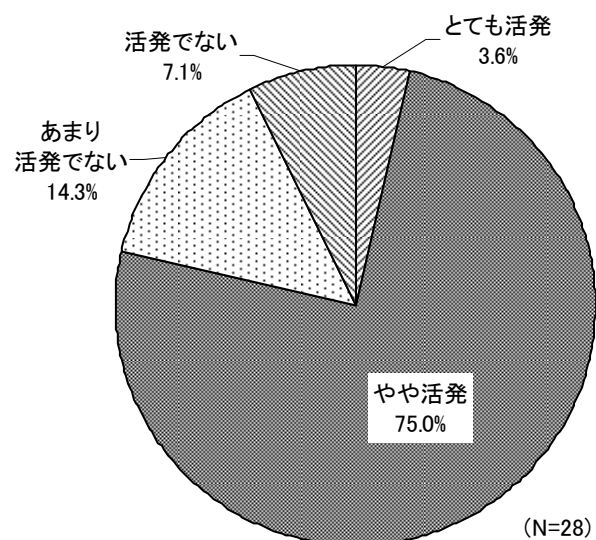
図表 3 祭りや行事(複数回答)



(4) 住民同士の交流 (問 1 ④)

・「やや活発」が最も多く、75.0%を占める。

図表 4 住民同士の交流

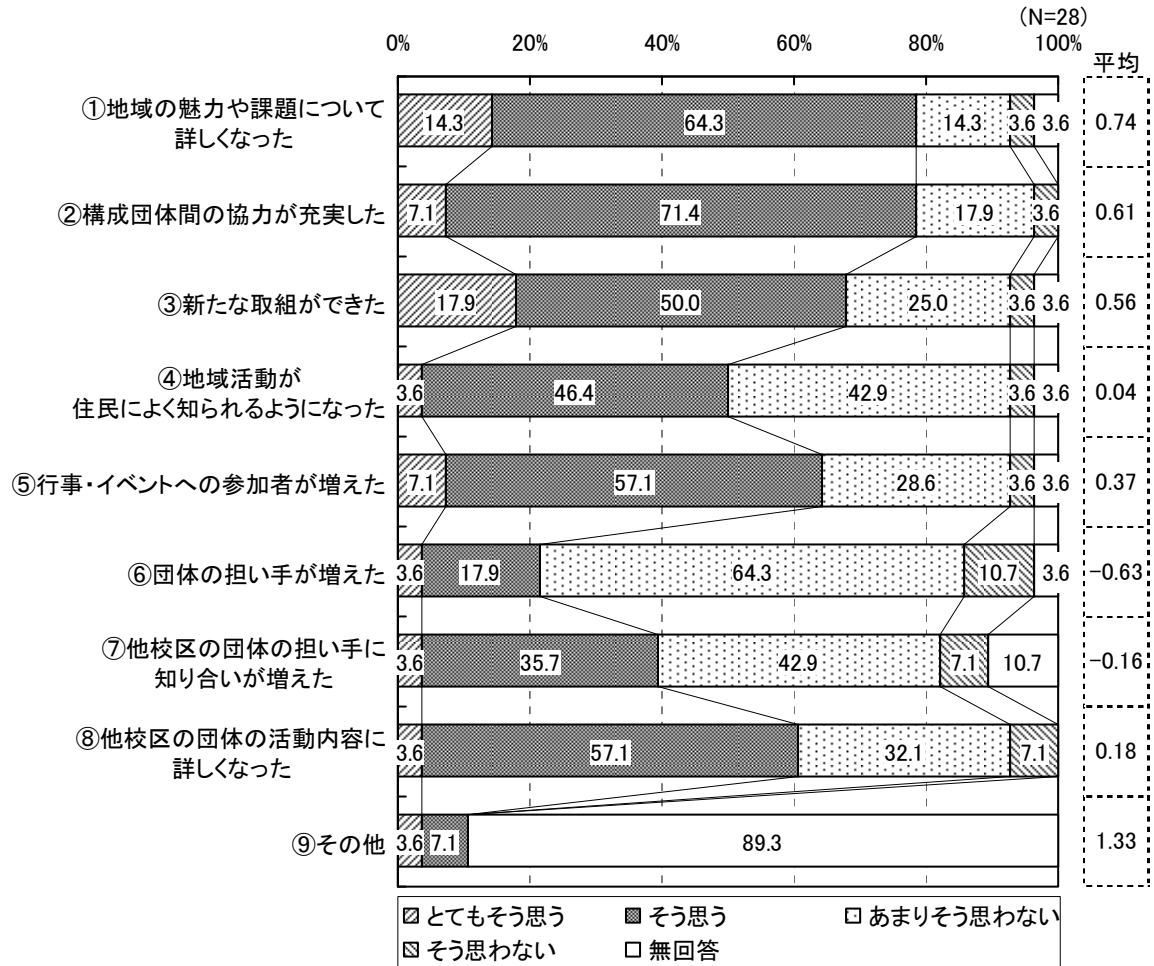


2. 校区まちづくり協議会設立準備会の活動をふりかえった感想

(1) 活動をふりかえて、「成果があった」と思われること（問2）

・最も成果があったと思われているのは「①地域の魅力や課題について詳しくなった」。次いで「②構成団体間の協力が充実した」、「③新たな取組ができた」の順となっている。

図表 5 「成果があった」と思われること



※平均は「とてもそう思う」＝＋2、「そう思う」＝＋1、「あまりそう思わない」＝－1、「そう思わない」＝－2とした加重平均値

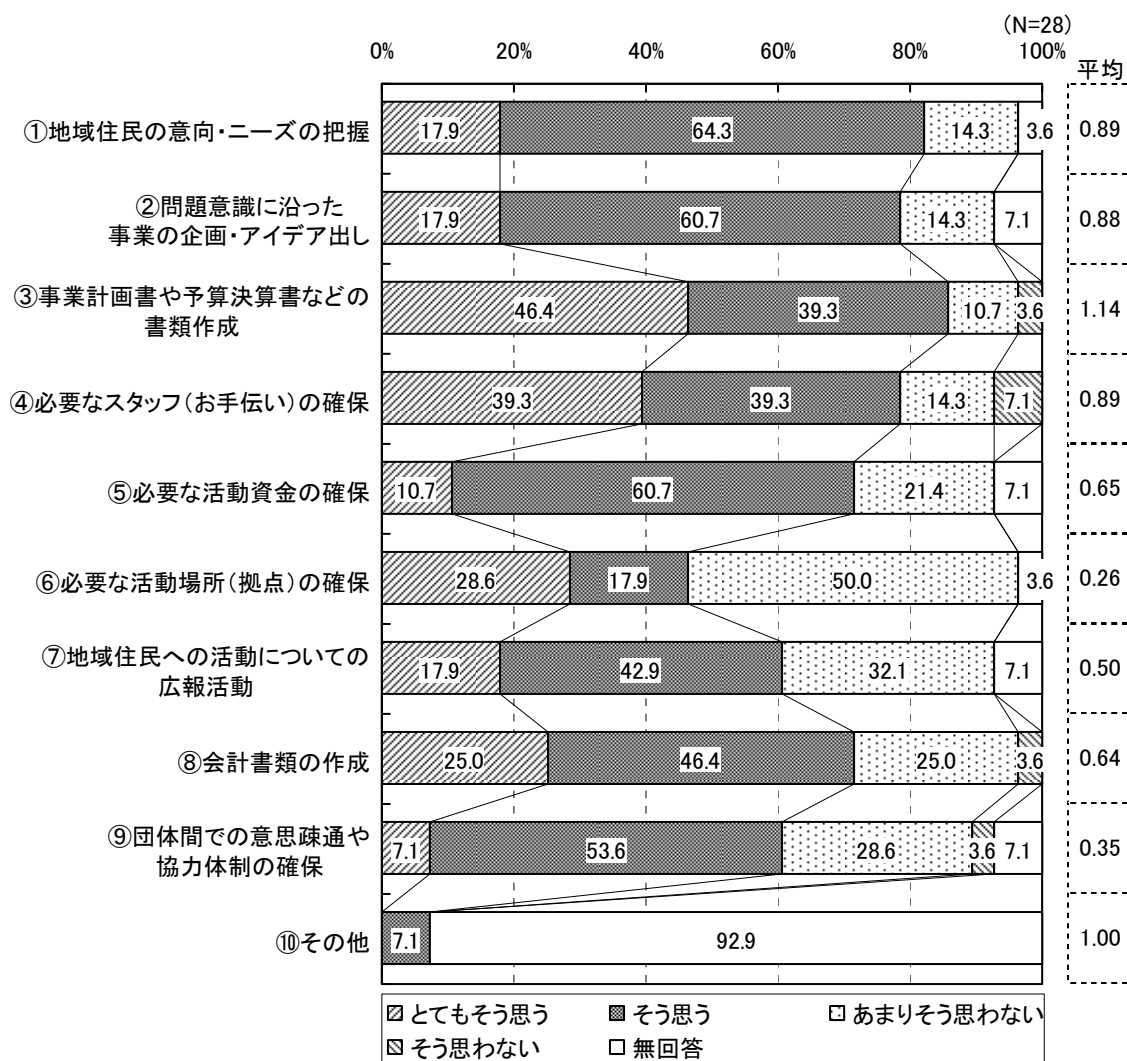
【「その他」の回答内容】

- ・学校関係とのつながりが多くなった。
- ・警察への協力ができた。
- ・団結力ができた。

(2) 活動をふりかえって、「難しかった」と思われること(問3)

・最も難しかったとされているのは「③事業計画書や予算決算書などの書類作成」。次いで「④必要なスタッフ(お手伝い)の確保」、「①地域住民の意向・ニーズの把握」、「②問題意識に沿った事業の企画・アイデア出し」の順となっている。

図表 6 「難しかった」と思われること



※平均は「とてもそう思う」=+2、「そう思う」=+1、「あまりそう思わない」=-1、「そう思わない」=-2とした加重平均値

【「その他」の回答内容】

- ・ボランティアの高齢化。若い人が出て欲しい。

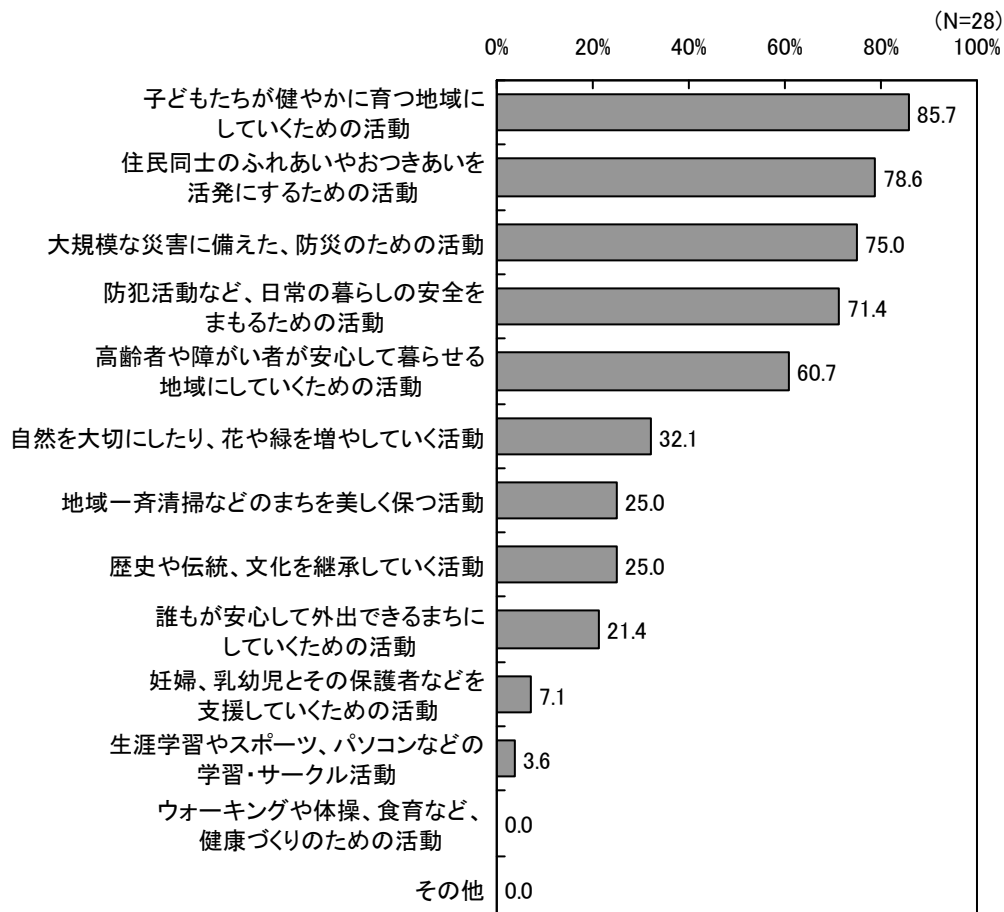
3. 校区まちづくり協議会の今後の活動意向

(1) 今後力を入れていきたい活動分野（問4、4-1）

a) 今後力を入れていきたい活動分野（問4）

・「子どもたちが健やかに育つ地域にしていくための活動」が85.7%と最も多い。次いで「住民同士のふれあいやおつきあいを活発にするための活動」が78.6%、「大規模な災害に備えた、防災のための活動」が75.0%となっている。

図表 7 今後力を入れていきたい活動分野(5つまで回答)



b) 今後力を入れていきたい活動の具体的なアイデア（問4-1）

・住民同士がより親密になれる交流を図る行事や、防災対策・防犯対策につながる活動などが具体的なアイデアとして挙げられている。

【住民同士の交流】

- ・小学校区に拡大した防災訓練、グラウンドゴルフ大会など（定例的に）。
- ・子どもたちを通じて住民同士がより親密になれるような行事に特に力を入れていきたい。
- ・地域一斉の清掃日を設定し、地域住民が各地区の清掃にあたり、お互いのふれあいを高めていく。

【防災・防犯】

- ・当地区は自治会活動が弱いので、今後必ず来る大規模な災害をテーマに地域での助けあい・支えあいの精神を持って頂けるように、自主防災組織の結成を進めていきたい。
- ・防犯・パトロール活動の充実。
- ・子どもたちの事故防止、活発な活動。
- ・防犯カメラ設置場所の周辺住民へ防犯カメラの効果を理解して頂くよう情報の提供に徹し、協力をお願いしていく。

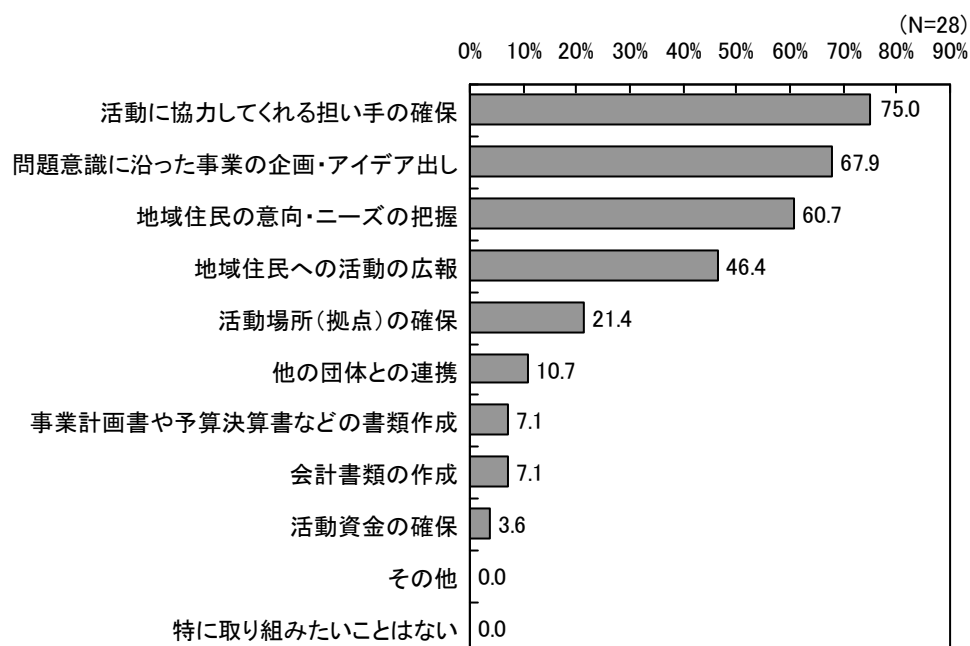
【その他】

- ・歴史・伝統文化を結ぶ遊歩道の設置。

(2) 特に充実して取り組みたいこと（問5）

・「活動に協力してくれる担い手の確保」が75.0%と最も多い。次いで「問題意識に沿った事業の企画・アイデア出し」が67.9%、「地域住民の意向・ニーズの把握」の60.7%となっている。

図表 8 特に充実して取り組みたいこと(3つまで回答)



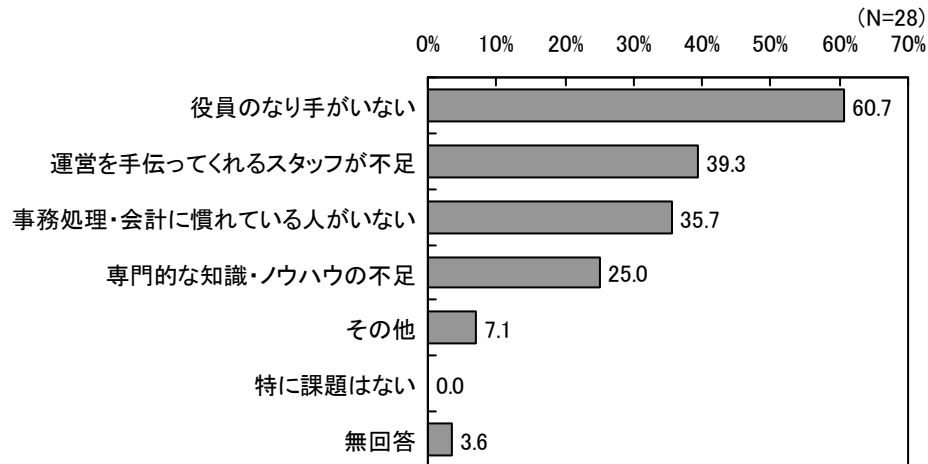
4. 校区まちづくり協議会の活動状況や活動に関する課題

(1) 校区まちづくり協議会の人材に関する課題（問6）

a) 校区まちづくり協議会の人材に関する課題

・「役員のなり手がいない」が60.7%と最も多い。次いで「運営を手伝ってくれるスタッフが不足」の39.3%。

図表 9 校区まちづくり協議会の人材に関する課題（2つまで回答）



【「その他」の回答内容】

- ・人材発掘に苦労。

b) 人材に関する課題を解決するために行っている取組

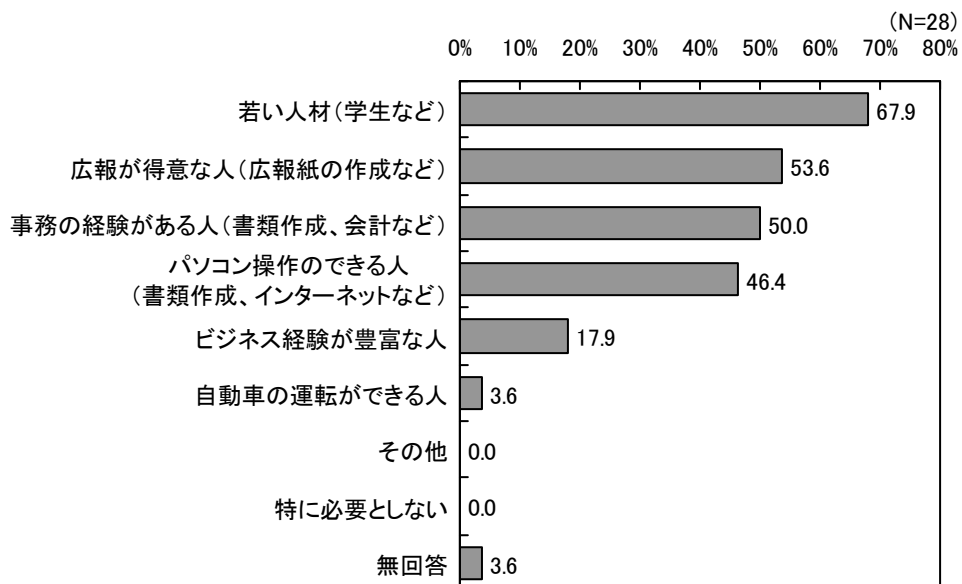
・人材を発掘するために日常的に情報を収集し、役員募集や知り合いへの声掛けなどに取り組んでいる。

- ・検討中として、校区まちづくり協議会の運営を手伝ってくれるボランティアスタッフを募集しようと考えている。
- ・常に発掘に努力するとともに、「役員といっても大した仕事はないよ」と軽い感じで誘っている。
- ・地域各団体との連携の模索。
- ・スタッフの仕事の軽減（報告書類の減少）。
- ・住民の意識改革（町会の世話すらやらない、町会未加入）。
- ・日頃からの情報収集。

(2) 校区まちづくり協議会に参加してほしい人材（問7）

・「若い人材(学生など)」が最も多く、67.9%を占める。次いで「広報が得意な人(広報紙の作成など)」が53.6%となっている。

図表 10 校区まちづくり協議会に参加してほしい人材(複数回答)

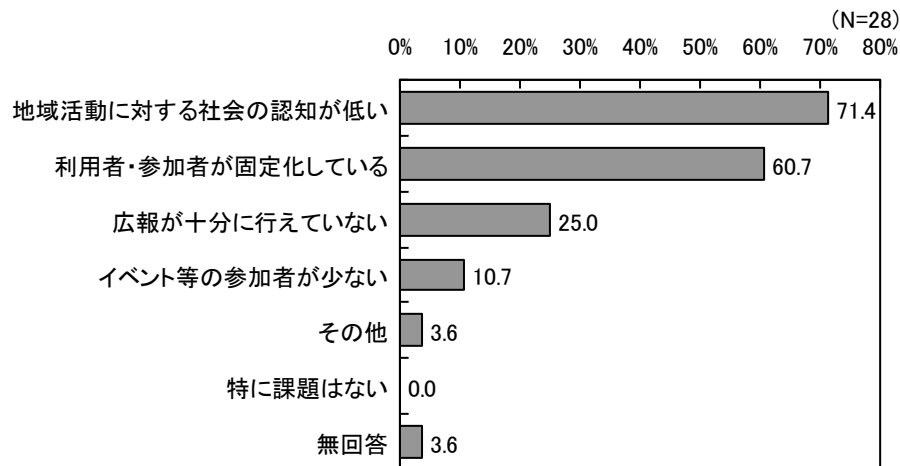


(3) 広報や参加者に関する課題（問8）

a) 広報や参加者に関する課題

・「地域活動に対する社会の認知が低い」が71.4%と最も多い。次いで「利用者・参加者が固定化している」が60.7%となっている。

図表 11 広報や参加者に関する課題（2つまで回答）



【「その他」の回答内容】

- ・ 地域による違いが大きい。
- ・ 町会長が1～2年で替わる町会が多いため、取組の浸透がままならない。

b) 広報や参加者に関する課題を解決するために行っている取組

・ 広報については、主に広報紙の発行や回覧などを中心として認知度を高めようとしている。また、インターネットを活用している地域もある。

・ 参加者については、ファミリー世代や若い世代の参加を促進している、

【広報】

- ・ 広報を月1回発行することで認知度を高め、参加者を増やしたい。
- ・ 校区まちづくり協議会の活動を知ってもらうため、インターネットを活用して校区まちづくり協議会のブログを立ち上げたり、自治振興委員会を通じて回覧を回してたりといったことを行っている。
- ・ 町会住民への回覧の充実（回数、中身など）。
- ・ 回覧・ポスター以外に、口コミによる勧誘が必要。
- ・ 町会長の定着を図っている。

【参加者】

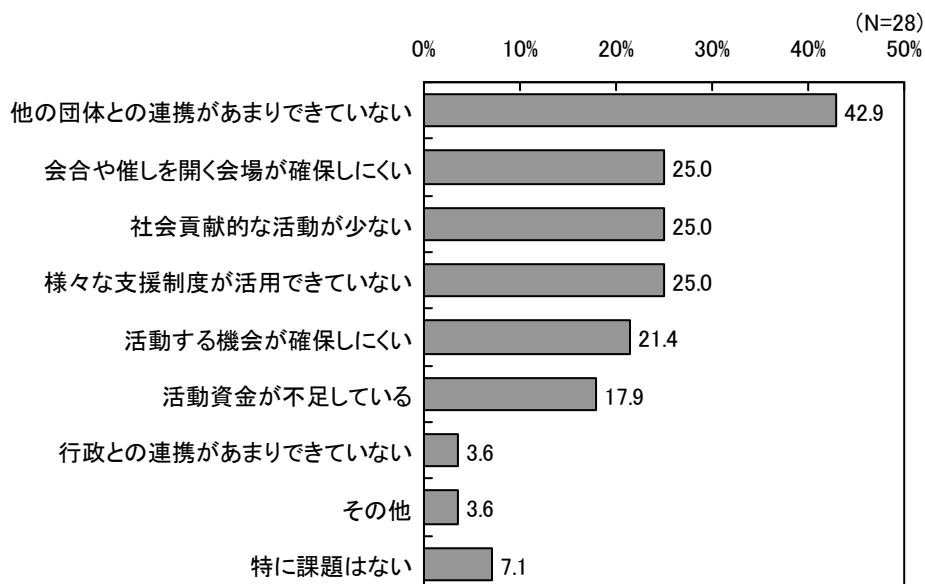
- ・ 若い世代の積極的な参加、推進力。
- ・ 青少年の育成を中心に、親が参加する行事を行う。

(4) 校区まちづくり協議会の運営に関する課題（問9）

a) 校区まちづくり協議会の運営に関する課題

・「他の団体との連携があまりできていない」が42.9%と最も多い。次いで「会合や催しを開く会場が確保しにくい」「社会貢献的な活動が少ない」「様々な支援制度が活用できていない」が25.0%となっている。

図表 12 校区まちづくり協議会の運営に関する課題（3つまで回答）



【「その他」の回答内容】

- ・住民のニーズの把握が難しい。

b) 運営に関する課題を解決するために行っている取組

・年間活動計画の策定することで活動予定を明らかにしたり、バザー出展などにより活動資金を確保するといった取り組みがされている。

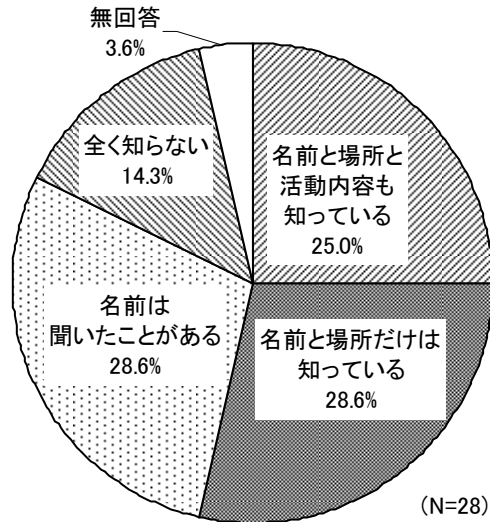
- ・年間活動計画など、予定をはっきりしようとしている。
- ・青少年に対する事業などは活発に行っているが、活動資金は不足している。不足分は模擬店・バザーなどの開催で補っているのが現状である。
- ・スタッフの専用部屋の確保。
- ・校区まちづくり協議会を通じて、市に対して校区集会所の建設を要望しようとしている。

5. 「つどい」への期待・要望

(1) 「つどい」の認知度（問10）

・約8割は「つどい」の存在を知っており、「名前と場所と活動内容も知っている」が25.0%となっている。一方、「全く知らない」が14.3%となっている。

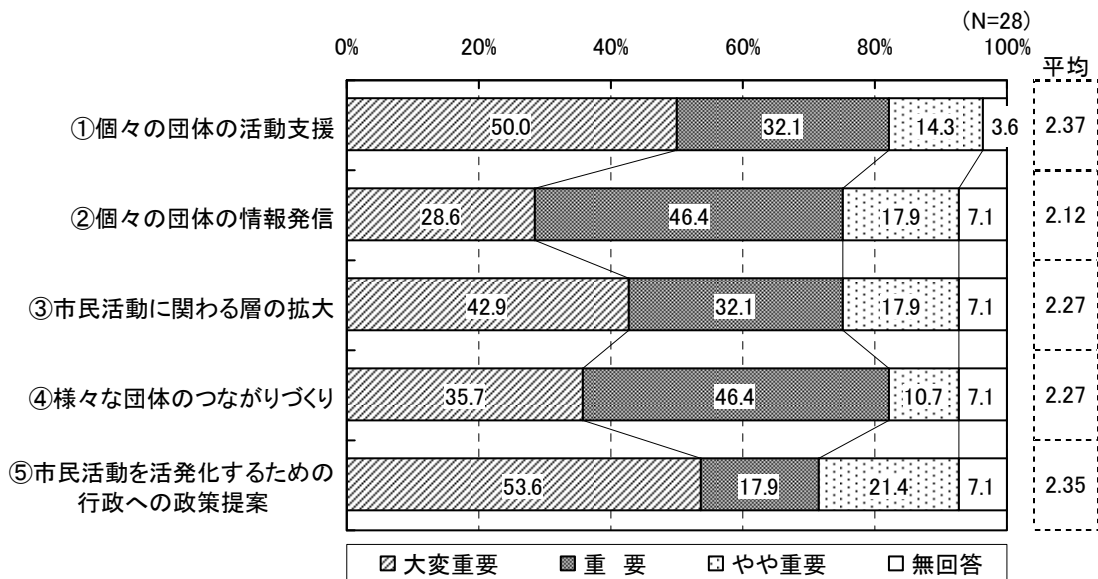
図表 13 「つどい」の認知度



(2) 「つどい」が果たす役割の重要度（問11）

・「①個々の団体の活動支援」の重要度が最も高く、次いで「⑤市民活動を活発化するための行政への政策提案」となっている。

図表 14 「つどい」が果たす役割の重要度



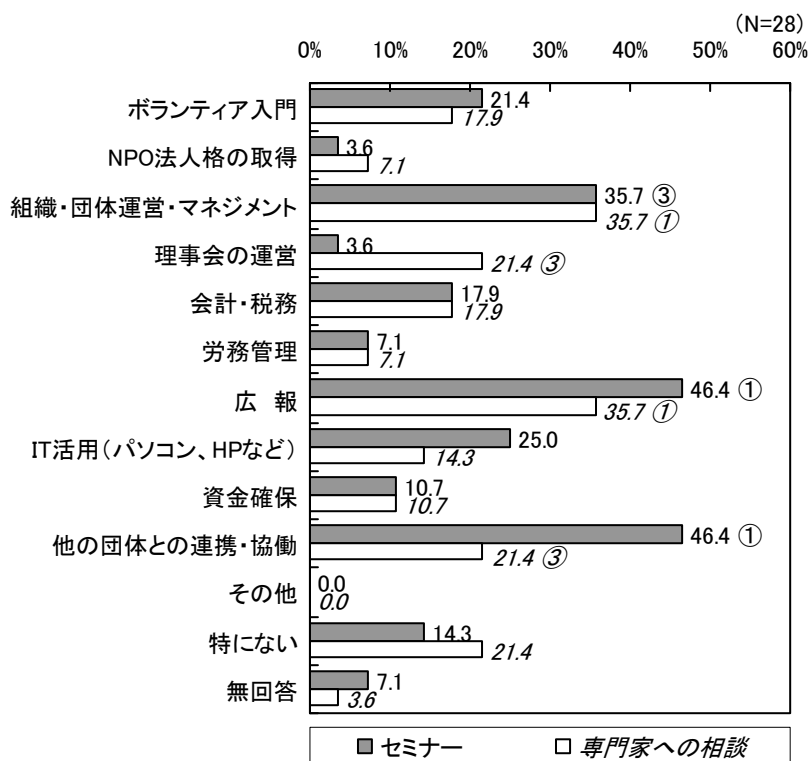
※平均は「大変重要」=+3、「重要」=+2、「やや重要」=+1、「重要ではない」=0とした加重平均値

(3) セミナーや相談について（問12、13、14）

a) 希望するセミナー・専門家への相談の内容（問12・問13）

- ・希望するセミナーのテーマをみると、「広報」「他の団体との連携・協働」が46.4%と最も多く、次いで「組織・団体運営・マネジメント」が35.7%となっている。
- ・専門家へ相談したい内容では、「組織・団体運営・マネジメント」「広報」が35.7%と最も多く、次いで「理事会の運営」「他の団体との連携・協働」が21.4%となっている。

図表 15 希望するセミナー・専門家への相談の内容（複数回答）

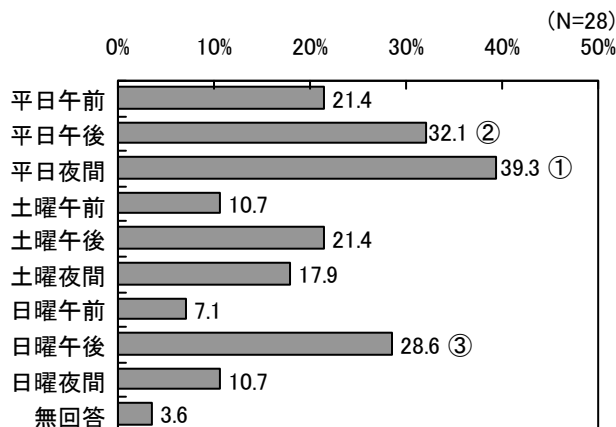


※丸数字は上位3位の項目

b) セミナー・相談に参加しやすい時間帯（問14）

- ・「平日夜間」が39.3%と最も多い。次いで「平日午後」が32.1%、「日曜午後」が28.6%となっている。

図表 16 セミナーや相談に参加しやすい時間帯（3つまで回答）



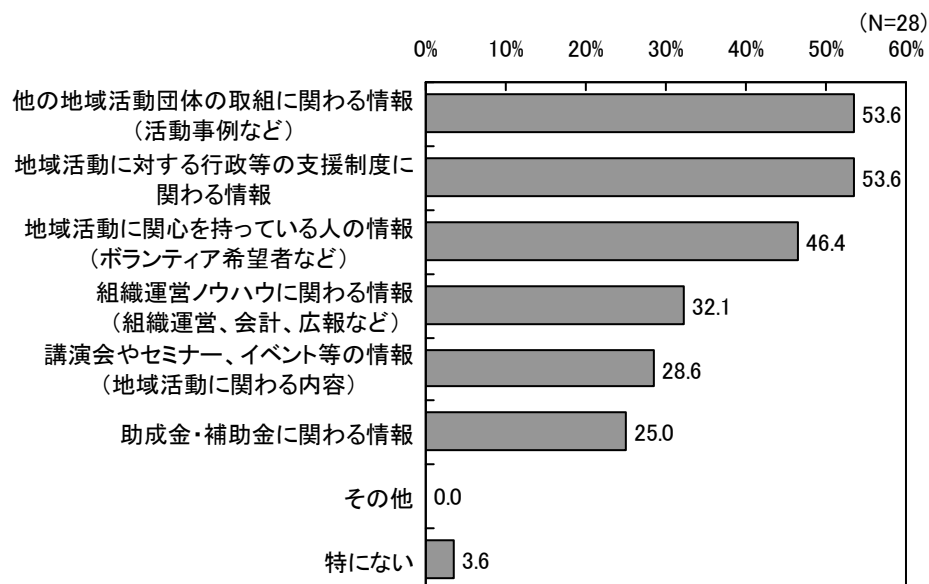
※丸数字は上位3位の項目

(4) 活動にあたって必要となる情報や情報発信について（問15、16）

a) 校区まちづくり協議会の運営にあたって必要となる情報（問15）

・「他の地域活動団体の取組に関わる情報（活動事例など）」「地域活動に対する行政等の支援制度に関わる情報」が53.6%と最も多く、次いで「地域活動に関心を持っている人の情報（ボランティア希望者など）」が46.4%となっている。

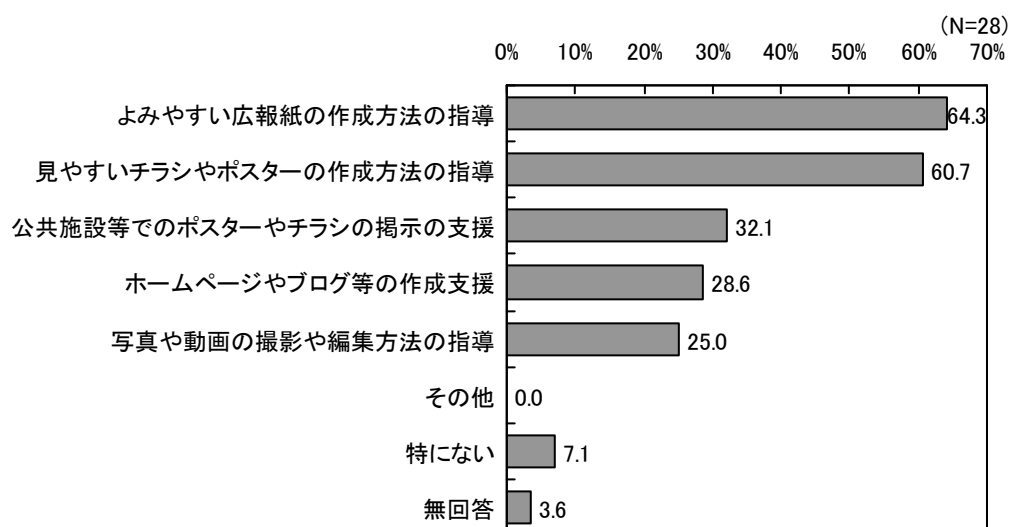
図表 17 校区まちづくり協議会の運営にあたって必要としている情報（3つまで回答）



b) 情報発信にあたって希望する支援（問16）

・「よみやすい広報紙の作成方法の指導」が64.3%と最も多く、次いで「見やすいチラシやポスターの作成方法の指導」が60.7%となっている。

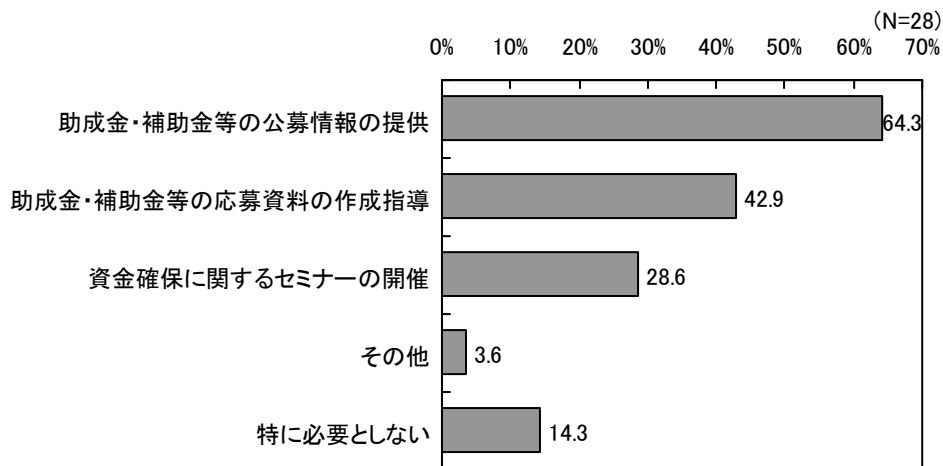
図表 18 情報発信にあたって希望する支援（3つまで回答）



(5) 活動にあたって必要となる資金の確保について（問17）

・「助成金・補助金等の公募情報の提供」が64.3%と最も多く、次いで「助成金・補助金等の応募資料の作成指導」が42.9%となっている。

図表 19 資金確保にあたって希望する支援(2つまで回答)



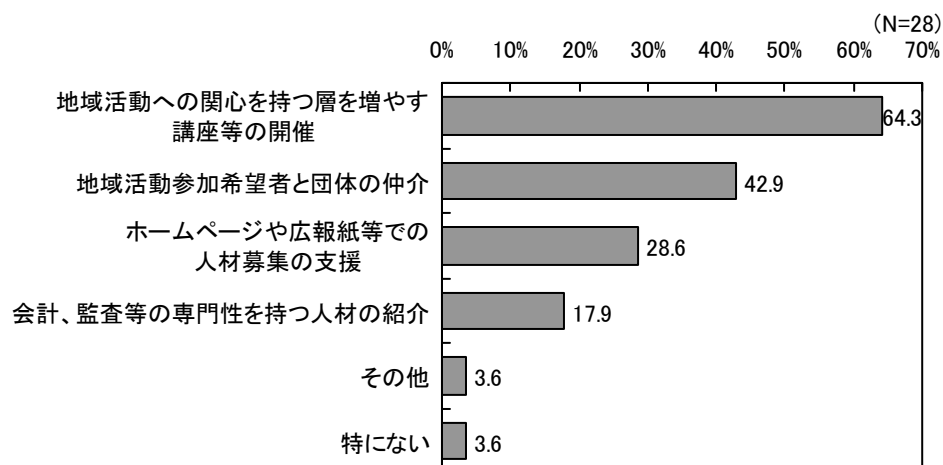
【「その他」の回答内容】

- ・市からの助成。

(6) 地域活動に関わる人材の育成について（問18）

・「地域活動への関心を持つ層を増やす講座等の開催」が64.3%と最も多く、次いで「地域活動参加希望者と団体の仲介」が42.9%となっている。

図表 20 地域活動の人材育成・確保にあたって希望する支援(2つまで回答)



【「その他」の回答内容】

- ・小学校、中学校、高校、大学で働きかけて欲しい。授業項目に入れるなど。

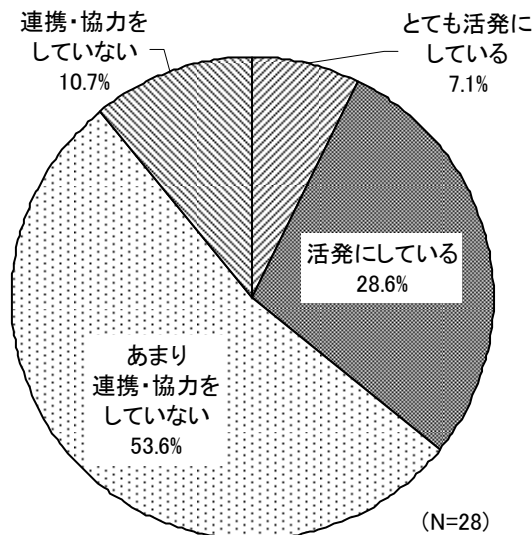
6. 多様な団体との連携・協力について

(1) 多様な団体との連携・協力状況（問19、19-1）

a) 他の団体との連携・協力状況（問19）

・多様な団体と連携・協力している（「とても活発にしている」「活発にしている」）協議会は35.7%となっている。一方、連携・協力をしていない（「あまり連携・協力をしていない」「連携・協力をしていない」）協議会は64.3%となっている。

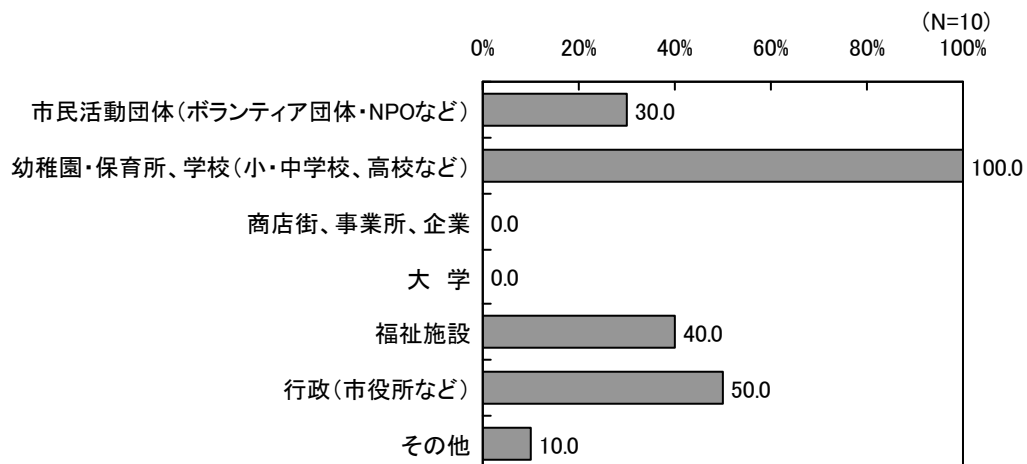
図表 21 他の団体との連携・協力状況



b) 連携・協力をしている団体（問19-1）

・全ての協議会が「幼稚園・保育所、学校」と連携・協力している。「行政」と連携・協力している協議会は半数となっている。

図表 22 連携・協力をしている団体
（「とても活発にしている」「活発にしている」と回答した団体ベース、複数回答）



【「その他」の回答内容】

- ・八尾警察署、消防署。

c) 連携・協力の概要（問19-1）

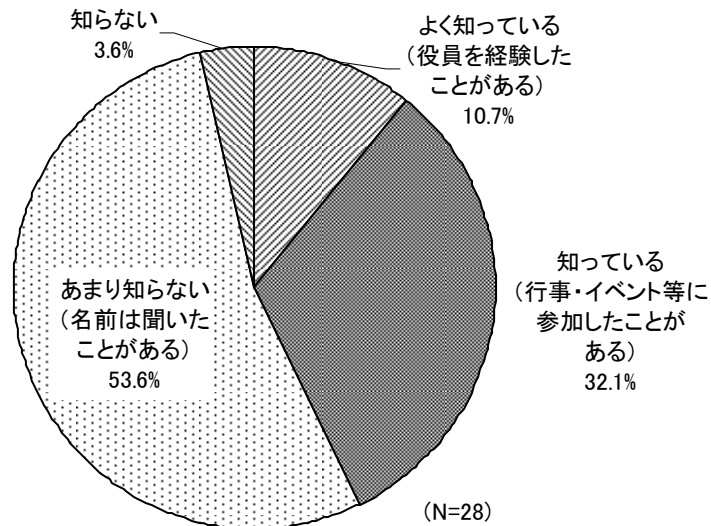
- ・イベントや行事に参加することをきっかけに連携・協力関係が生まれたり、深まったりといった状況が見られる。
- ・学校との連携・協力など、子どもを通じて連携が始まるという回答が多い。
- ・学校の敷地を備品の保管などに活用している例もある。

- ・ イベントなどをきっかけに連携・協力するような関係が築くことができている。
- ・ 行事に参加することにより交流を深めている。
- ・ 子ども会、PTAの活動により出会いました。小学校と福祉委員会の連携と協力をしています。
- ・ 幼、小・中、高については長年にわたり協力・連携を行っている。特に平成12年より中学校区にて子どもたちの育成に頑張っている。
- ・ 声かけ運動、入学式、卒業式、運動会、ふれあい祭り、体育祭など。
- ・ 地域内に協議会の拠点となる建物（集会所など）がないため、小学校の敷地内に倉庫を建てさせてもらい、協議会の備品などを保管させてもらっている。

(2) 市民活動団体の活動状況の認知度 (問20)

・市民活動団体の活動状況について知っている(「よく知っている」「知っている」)協議会は42.8%となっている。一方、活動状況を知らない(「あまり知らない」「知らない」)協議会は57.2%となっている。

図表 23 市民活動団体の活動状況の認知度

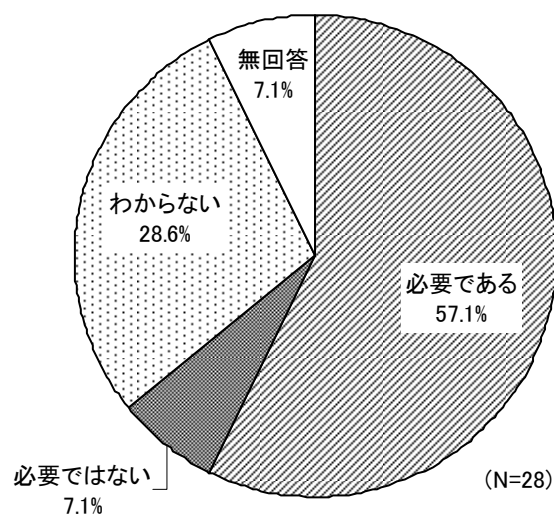


(3) 市民活動団体との連携・協力の必要性 (問21、21-1)

a) 地域活動を進めていく上での市民活動団体との連携・協力の必要性 (問21)

・市民活動団体との連携・協力が「必要である」と回答している協議会は57.1%となっている。

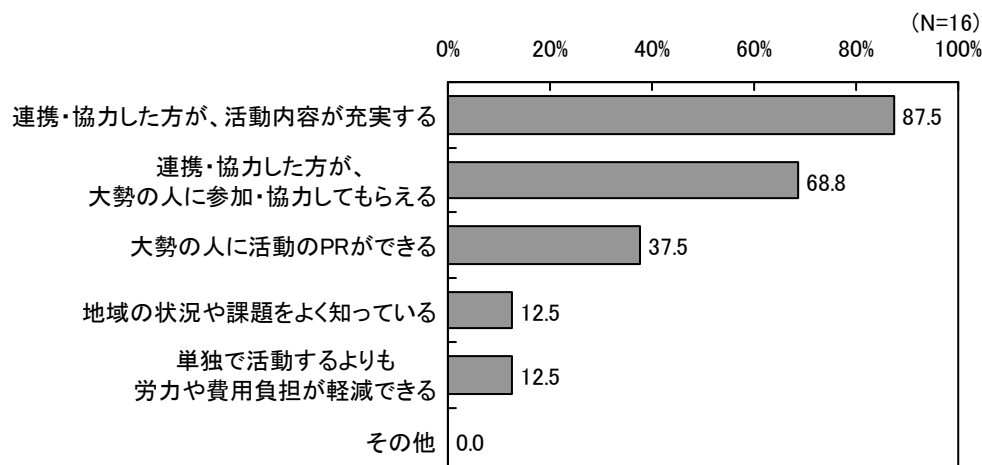
図表 24 地域活動を進めていく上での市民活動団体との連携・協力の必要性



b) 市民活動団体との連携・協力が必要と考える理由（問21-1）

・「連携・協力した方が、活動内容が充実する」が87.5%と最も多く、次いで「連携・協力した方が、大勢の人に参加・協力してもらえる」が68.8%となっている。

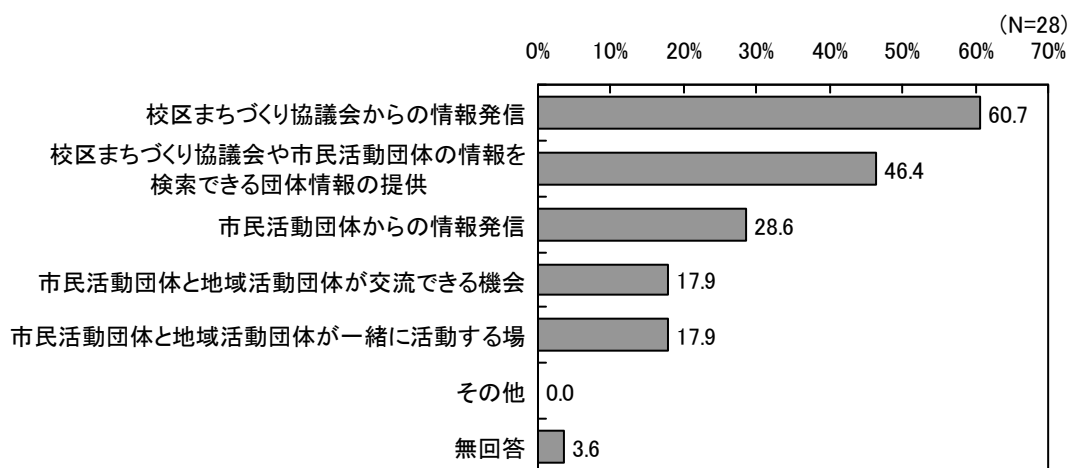
図表 25 市民活動団体との連携・協力が必要と考える理由
（「必要である」と回答した校区まちづくり協議会ベース、3つまで回答）



(4) 市民活動団体との連携・協力のために必要な取組（問22）

・「校区まちづくり協議会からの情報発信」が60.7%と最も多い。次いで「校区まちづくり協議会や市民活動団体の情報を検索できる団体情報の提供」が46.4%となっている。

図表 26 今後、校区まちづくり協議会が市民活動団体と連携・協力していくために必要な取組
（3つまで回答）



(5) 市民活動団体に協力を希望すること (問23)

・全般的なアドバイス、スタッフ育成、イベント運営など、さまざまな面からの協力が要望されている。

- ・全般にわたってアドバイスを頂きたい。
- ・青少年活動のためのスタッフの育成。
- ・イベントなどの地域活動の運営に協力してもらうこと。
- ・障がい者に対する援助活動の支援。
- ・地域活動団体がテーマ型団体を受け入れる体制づくりがまず必要です。
- ・年間を通してさまざまなイベントなどを行っています。まずは1つでも2つでも参加して頂き、交流を図ることから始めていってはどうでしょうか。

(6) 市民活動団体との連携・協力にあたって、不安に感じること (問24)

・地域に対する理解・認識がないのではないかという点や、活動の継続性に対して疑問を持つ一方、協力するとなった際に自分たちが対応できるかといった不安を感じている。

- ・単発的なものでなく、継続したものであって欲しい。
- ・円滑な運営。
- ・市民活動団体がどれだけ地域の全体を把握しているのか、また狭い認識による提案。長い歴史、慣習への理解の不足。
- ・市民活動団体の方は地域と連携しようと本気で考えているのでしょうか。
- ・積極的に協力して頂いた場合、当方でそれに対応できるのだろうか。
- ・どういうことをしているか、よくわからない。

7. 地域活動の活性化や校区まちづくり協議会の今後のあり方等に関する意見

- ・校区まちづくり協議会として、地域の行事や活動を推進することで、地域住民の人間関係づくりやまちづくりのネットワーク形成を進めていくことがあり方として挙げられている。
- ・制度面としては、福祉委員会などの従来組織と校区まちづくり協議会の関連性を明確にしてほしいといった声や、事務手続きの簡素化や補助金の使途に関する柔軟な運用などについて要望があった。
- ・八尾市に対しては、地域活動の拠点となる施設の整備などの要望があった。

【校区まちづくり協議会のあり方】

- ・地域住民の意向を反映させる状態をつくり、住民の意見を丹念に吸い上げ、地域に行政に反映することが地域の輝き、活動につながっていく。地域住民の人間関係（子どもと子ども、子どもと大人、大人と大人の関係）の構築を第一義に活動する。元気な笑顔をいっぱいひいての明るいまちづくり。ふれあう、交流する、知る、学ぶ、伝える、そして支えあう活動の推進。現在行っている地域の諸行事を精査し、推進していく。
- ・イベントに参加しない人は何にも参加しない。地域の住民全てが地域の将来を自分のこととして捉えることがまちづくりの第一歩となる。地域の動向の情報発信、また祭事などへの参加の広報をし続けることにより住民が地域の現況を認識、また関心が持てるようになり、それぞれの地域に対しての責任が生まれるのではないかと。校区まちづくり協議会としては全ての住民を巻き込むことを第一と考え、発信、広報、意見を集約する。
- ・いろいろな問題が起きてくるのではないかと。その中で個人、構成団体の知恵を集めて、地域の活性化をめざして進むのみ。
- ・計画をしっかり持ち、自分たちのまちづくりを考えて多くの人が参加できるようにする。参加者みなさんが喜び、楽しさを知る活動をしたい。

【校区まちづくり協議会の制度や事務手続きに対する要望】

- ・設立総会を始め、書類の簡素化に努めて欲しい。地域分権を推進するならば、結果報告、使用規制などの点についても緩くして欲しい。市職員OBなど、コミュニティ活動に通じた人を配置して欲しい。
- ・協議会への補助金の使途について、柔軟な対応（個別に行政が判断するとか）が必要と思われる。現状では活動がかなり制限・制約される。
- ・地区福祉委員会との関連の明確化。
- ・校区まちづくり協議会は複数の従来からの福祉委員会で構成されることが多いのではないかと。これまで福祉委員会を担っていた者が携わる可能性大（人材不足などで）。掛け持ちで仕事の負担増は必然。校区まちづくり協議会偏重を危惧する。予算もつきやすいので全体で進められるアイテムはよいとして、全体の同意の得にくいもの、きめ細かな対応が求められるアイテムが疎かにならないようにしたい。福祉委員会の衰退がないようにしたい。

【外部との連携】

- ・ NPO・市民団体などとの連携は現在考えていない。今後議論を重ねていく中で適時考え、協力・交流を促していきたい。まず地元から協力を求めている。
- ・ 長年居住され活動されている方々など多くの有識者の参加を求めている。
- ・ 地域の諸団体（地域、学校、行政、企業）のネットワークづくりが私たちの大きな課題だと思う。

【人材の育成・確保】

- ・ 地域活動をすることにし組織を充実する必要があるが、その人材育成に新しい人が集まりにくい。地域の各団体の役員が重複して何年も続いていることもある。当地域では小学校PTA、中学校PTAを退任しても何らかの方法で地域団体に残れる方法を検討中です。

【八尾市に対する意見・要望】

- ・ まちづくり協議会はこれから地域のいろいろな団体のまとめ役になっていくのだと思います。市もバラバラに施策を行うのではなく、これを機会に事業を一本化するなどの努力をしていく必要があるのではないのでしょうか。
- ・ できるだけ多くの地域住民のニーズを吸い上げることが必要と考えている。
- ・ 地域の声を聞き進めて参りますので、どうぞ温かく助けて頂けますよう行政にお願い申し上げます。
- ・ リーダーとして誠心誠意で尽力するのみと考えている。
- ・ 集会所が小学校の1教室のみで、しかも平日の昼間は使えないため、コミュニティセンターのような施設が欲しい。
- ・ 地域住民のニーズの把握、地域活動の広報の充実。地区の中心部に会館の建設を強く希望する。

地域活動の支援方策についてのアンケート

校区まちづくり協議会（設立準備会）の特徴についてお聞かせください。

問1 活動されている地域はどのようなまちでしょうか。次の①～④についてそれぞれご回答ください。

① 住民の居住年数の特徴（○印は1つ）

1. 比較的長く住んでいる人が多い
2. 住民の入れ替わりが多い
3. わからない

② 地域の特徴（○印はいくつでも）

1. 戸建住宅がほとんどの地域
2. マンションなどの集合住宅のみの地域
3. 戸建住宅と集合住宅が混在する地域
4. 住宅と工場が混在する地域
5. 住宅と商店街が混在する地域
6. 農地がある地域
7. その他（

③ 祭りや行事（○印はいくつでも）

1. 伝統的な祭り・行事がある
2. 伝統的な祭り・行事がない
3. 新しい催しがある
4. 新しい催しがない
5. わからない

④ 住民同士の交流（○印は1つ）

1. とても活発
2. やや活発
3. あまり活発でない
4. 活発でない
5. わからない

校区まちづくり協議会設立準備会の活動をふりかえった感想をお聞かせください。

問2 校区まちづくり協議会設立準備会の活動をふりかえって、「成果があった」と思われることをお聞かせください。(①～⑨の項目ごとに○印は1つずつ)

	とても そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない
<記入例> 各団体の活動内容に詳しくなった	1	②	3	4
①地域の魅力や課題について詳しくなった	1	2	3	4
②構成団体間の協力が充実した	1	2	3	4
③新たな取組ができた	1	2	3	4
④地域活動が住民によく知られるようになった	1	2	3	4
⑤行事・イベントへの参加者が増えた	1	2	3	4
⑥団体の担い手が増えた	1	2	3	4
⑦他校区の団体の担い手に知り合いが増えた	1	2	3	4
⑧他校区の団体の活動内容に詳しくなった	1	2	3	4
⑨その他 ()	1	2	3	4

問3 校区まちづくり協議会設立準備会の活動をふりかえって、「難しかった」と思われることをお聞かせください。(①～⑩の項目ごとに○印は1つずつ)

	とても そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない
<記入例> 地域住民の意向・ニーズの把握	1	②	3	4
①地域住民の意向・ニーズの把握	1	2	3	4
②問題意識に沿った事業の企画・アイデア出し	1	2	3	4
③事業計画書や予算決算書などの書類作成	1	2	3	4
④必要なスタッフ（お手伝い）の確保	1	2	3	4
⑤必要な活動資金の確保	1	2	3	4
⑥必要な活動場所（拠点）の確保	1	2	3	4
⑦地域住民への活動についての広報活動	1	2	3	4
⑧会計書類の作成 (現金の適切な取り扱い、領収書の整理など)	1	2	3	4
⑨団体間での意思疎通や協力体制の確保	1	2	3	4
⑩その他 ()	1	2	3	4

貴団体の活動の今後の意向をお聞かせください。

問4 貴団体は、今後どのような分野の活動に、特に力を入れていきたいと考えていますか？

(○印は5つまで)

1. 住民どうしのふれあいやおつきあいを活発にするための活動
2. 子どもたちが健やかに育つ地域にしていくための活動
3. 妊婦、乳幼児とその保護者などを支援していくための活動
4. 高齢者や障がい者が安心して暮らせる地域にしていくための活動
5. 大規模な災害に備えた、防災のための活動
6. 防犯活動など、日常の暮らしの安全をまもるための活動
7. 誰もが安心して外出できるまちにしていくための活動
8. 自然を大切にしたり、花や緑を増やしていく活動
9. 生涯学習やスポーツ、パソコンなどの学習・サークル活動
10. ウォーキングや体操、食育など、健康づくりのための活動
11. 地域一斉清掃などのまちを美しく保つ活動
12. 歴史や伝統、文化を継承していく活動
13. その他 ()

↓

問4-1 具体的な活動のアイデアがございましたらご記入ください。

問5 今後、協議会活動を本格化していくにあたって、特に、充実して取り組みたいことをお聞かせください。(○は3つまで)

1. 地域住民の意向・ニーズの把握
2. 問題意識に沿った事業の企画・アイデア出し
3. 事業計画書や予算決算書などの書類作成
4. 活動に協力してくれる担い手の確保
5. 活動資金の確保
6. 活動場所(拠点)の確保
7. 地域住民への活動の広報
8. 会計書類の作成(現金の適切な取り扱い、領収書の整理など)
9. 他の団体との連携
10. その他 ()
11. 特に取り組みたいことはない

貴団体の活動状況や活動に関する課題をお聞かせください。

問6 団体の人材に関する課題をお聞かせください。(○印は2つまで)

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. 役員のなり手がいない | 4. 専門的な知識・ノウハウの不足 |
| 2. 事務処理・会計に慣れている人がいない | 5. その他 () |
| 3. 運営を手伝ってくれるスタッフが不足 | 6. 特に課題はない |

↓課題を解決するために行っている取組をご紹介します

--

問7 団体に参加してほしいのはどのような人材ですか？(○印はいくつでも)

- | | |
|-----------------------------------|---------------------|
| 1. 若い人材(学生など) | 5. 広報が得意な人(広報紙の作成等) |
| 2. ビジネス経験が豊富な人 | 6. 自動車の運転ができる人 |
| 3. パソコン操作のできる人
(書類作成、インターネット等) | 7. その他 () |
| 4. 事務の経験がある人(書類作成、会計等) | 8. 特に必要としない |

問8 広報や参加者に関する課題をお聞かせください。(○印は2つまで)

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. 広報が十分に行えていない | 4. 地域活動に対する社会の認知が低い |
| 2. イベント等の参加者が少ない | 5. その他 () |
| 3. 利用者・参加者が固定化している | 6. 特に課題はない |

↓課題を解決するために行っている取組をご紹介します

--

問9 団体の運営に関する課題をお聞かせください。(○印は3つまで)

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 会合や催しを開く会場が確保しにくい | 6. 他の団体との連携があまりできてない |
| 2. 活動する機会が確保しにくい | 7. 様々な支援制度が活用できていない |
| 3. 社会貢献的な活動が少ない | 8. その他 () |
| 4. 活動資金が不足している | 9. 特に課題はない |
| 5. 行政との連携があまりできていない | |

↓課題を解決するために行っている取組をご紹介します

--

**市民活動支援ネットワークセンター「つどい」では機能強化を目指しています。
～どのようなサービスの充実が望まれるか、ご意見をお聞かせください～**

本市では、市民活動の活性化をめざして、平成 16 年に八尾市市民活動ネットワークセンター「つどい」を設置（市役所北側 藤井寺行バス停前 1 階）し、情報提供や相談、会議スペースや印刷機器の提供などを行っています。現在、その活動の充実に向けた方向性を検討しています。

問 10 市民活動支援ネットワークセンター「つどい」を知っていますか。

- | | |
|---------------------|----------------|
| 1. 名前と場所と活動内容も知っている | 3. 名前は聞いたことがある |
| 2. 名前と場所だけは知っている | 4. 全く知らない |

問 11 （上記の説明を読んだ上で）市民活動支援ネットワークセンター「つどい」が果たす役割として、次に示す①～⑤の役割はどの程度重要と思われますか。（項目ごとに○印は 1 つずつ）

	大変重要	重要	やや重要	重要でない
＜記入例＞	①	2	3	4
①個々の団体の活動支援				
①個々の団体の活動支援 （情報提供、相談、研修、資金確保支援など）	1	2	3	4
②個々の団体の情報発信 （団体の活動紹介、活動の表彰など）	1	2	3	4
③市民活動に関わる層の拡大 （ボランティアの育成など）	1	2	3	4
④様々な団体のつながりづくり （協働のコーディネートなど）	1	2	3	4
⑤市民活動を活発するための行政への政策提案	1	2	3	4

A: セミナーや相談について

問 12 どのようなテーマのセミナーの開催を希望されますか。（○印はいくつでも）

- | | |
|-------------------|------------------------|
| 1. ボランティア入門 | 7. 広報 |
| 2. NPO 法人格の取得 | 8. IT 活用（パソコン、ホームページ等） |
| 3. 組織・団体運営・マネジメント | 9. 資金確保 |
| 4. 理事会の運営 | 10. 他の団体との連携・協働 |
| 5. 会計・税務 | 11. その他（ ） |
| 6. 労務管理 | 12. 特にない |

問 13 専門家に気軽に相談できるなら、どのようなことを相談したいですか。（○印はいくつでも）

- | | |
|-------------------|------------------------|
| 1. ボランティア入門 | 7. 広報 |
| 2. NPO 法人格の取得 | 8. IT 活用（パソコン、ホームページ等） |
| 3. 組織・団体運営・マネジメント | 9. 資金確保 |
| 4. 会議の運営 | 10. 他の団体との連携・協働 |
| 5. 会計・税務 | 11. その他（ ） |
| 6. 労務管理 | 12. 特にない |

問 14 どのような時間帯に開催されると、セミナーや相談に参加しやすいですか。(○印は3つまで)

- | | | |
|---------|---------|---------|
| 1. 平日午前 | 4. 土曜午前 | 7. 日曜午前 |
| 2. 平日午後 | 5. 土曜午後 | 8. 日曜午後 |
| 3. 平日夜間 | 6. 土曜夜間 | 9. 日曜夜間 |

B:活動にあたって必要となる情報や情報発信について

問 15 団体の運営にあたってどのような情報を必要とされていますか？(○印は3つまで)

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 他の地域活動団体の取組に関わる情報（活動事例など） |
| 2. 地域活動に関心を持っている人の情報（ボランティア希望者など） |
| 3. 講演会やセミナー、イベントなどの情報（地域活動に関わる内容） |
| 4. 地域活動に対する行政等の支援制度に関わる情報 |
| 5. 助成金・補助金に関わる情報 |
| 6. 組織運営ノウハウに関わる情報（組織運営、会計、広報など） |
| 7. その他（ ） |
| 8. 特にない |

問 16 貴団体からの情報発信に関連して、どのような支援を希望されますか？(○印は3つまで)

- | |
|--------------------------|
| 1. 公共施設等でのポスターやチラシの掲示の支援 |
| 2. 見やすいチラシやポスターの作成方法の指導 |
| 3. よみやすい広報紙の作成方法の指導 |
| 4. ホームページやブログ等の作成支援 |
| 5. 写真や動画の撮影や編集方法の指導 |
| 6. その他（ ） |
| 7. 特にない |

C:活動にあたっての必要となる資金の確保について

問 17 資金確保にあたってどのような支援を希望されますか。(○印は2つまで)

- | |
|-----------------------|
| 1. 助成金・補助金等の公募情報の提供 |
| 2. 助成金・補助金等の応募資料の作成指導 |
| 3. 資金確保に関するセミナーの開催 |
| 4. その他（ ） |
| 5. 特に必要としない |

D:地域活動に関わる人材の育成について

問 18 地域活動の人材育成・確保にあたって、どのような支援を希望されますか。(○印は2つまで)

- | |
|---------------------------|
| 1. 地域活動への関心をもつ層を増やす講座等の開催 |
| 2. 地域活動参加希望者と団体の仲介 |
| 3. ホームページや広報紙等での人材募集の支援 |
| 4. 会計、監査などの専門性を持つ人材の紹介 |
| 5. その他（ ） |
| 6. 特にない |

多様な団体との連携・協力について、ご意見をお聞かせください。

問 19 貴団体では、構成団体以外の団体と連携・協力をしていますか？（○印は1つ）

- | | |
|---------------|-------------------|
| 1. とても活発にしている | 3. あまり連携・協力をしていない |
| 2. 活発にしている | 4. 連携・協力をしていない |

（問 19 で「1. とても活発にしている」「2. 活発にしている」の回答者のみ回答）

問 19-1 貴団体は、どのような団体と連携・協力をしていますか。（○印はいくつでも）

- | | |
|--------------------------|-------------|
| 1. 市民活動団体（ボランティア団体・NPO等） | 5. 福祉施設 |
| 2. 幼稚園・保育所、学校（小・中学校、高校等） | 6. 行政（市役所等） |
| 3. 商店街、事業所、企業 | 7. その他（ ） |
| 4. 大学 | |

↓連携・協力の概要をご記入ください。（連携・協力先、出会ったきっかけ、連携・協力の内容）

（全ての団体がお答えください）

問 20 市民活動団体（ボランティア団体、NPO等）の活動をご存知ですか。（○印は1つ）

- | |
|------------------------------|
| 1. よく知っている（役員を経験したことがある） |
| 2. 知っている（行事・イベント等に参加したことがある） |
| 3. あまり知らない（名前は聞いたことがある） |
| 4. 知らない |

問 21 地域活動を進めていく上で、市民活動団体（ボランティア団体、NPO等）との連携・協力は必要だと思いますか。（○印は1つ）

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. 必要である | →問 21-1 へ |
| 2. 必要ではない | } →問 22 へ |
| 3. わからない | |

問 21-1 市民活動団体との連携・協力が必要と考える理由をお聞かせください。（○印は3つまで）

- | |
|-------------------------------|
| 1. 連携・協力した方が、活動内容が充実する |
| 2. 地域の状況や課題をよく知っている |
| 3. 連携・協力した方が、大勢の人に参加・協力してもらえる |
| 4. 大勢の人に活動のPRができる |
| 5. 単独で活動するよりも労力や費用負担が軽減できる |
| 6. その他（ ） |

(全ての団体がお答えください)

問 22 今後、市民活動団体と連携・協力していくためには、どのような取組が必要と思われますか。(○印は3つまで)

1. 校区まちづくり協議会からの情報発信
2. 市民活動団体(NPO、ボランティア等)からの情報発信
3. 校区まちづくり協議会や市民活動団体の情報を検索できる団体情報の提供
4. 市民活動団体(NPO、ボランティア等)と地域活動団体が交流できる機会
5. 市民活動団体(NPO、ボランティア等)と地域活動団体が一緒に活動する場
6. その他 ()

問 23 市民活動団体等と連携・協力する場合、市民活動団体に協力を希望されることをお聞かせください。

(例) 子どもたちが福祉活動に関心を持っているため、介護体験学習を支援してほしい

問 24 市民活動団体等との連携・協力にあたって、何か不安に感じておられることがあれば、お聞かせください。

地域活動の活性化や「校区まちづくり協議会」の今後のあり方等に関して、ご意見をお聞かせください。

ご協力ありがとうございました。

封筒に入れ**11月14日(水)**までにコミュニティ推進スタッフにお渡しください。